

第1期「鳥取市創生総合戦略」の5年間の達成状況

資料 5 - 1

1 基本目標の達成状況

	基本目標	策定時	5年間の目標	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R1外部評価
ひとづくり	合計特殊出生率	1.55 (H25)	1.8	1.66	1.55	1.45	1.5	未確定	—
しごとづくり	5年間の正規雇用創造数	1,203人 (26)	5,000人	875人	1,879人	2,693人	3,315人	3,816人	C
	5年間の企業誘致数（補助事業指定企業件数）	20件 (H26)	75件以上	17件	32件	50件	73件	83件	A
まちづくり	移住定住者数	200世帯 351人 (H26)	1,100世帯 2,000人以上	178世帯 326人	297世帯 514人	668世帯 1,001人	1,009世帯 1,465人	1,271世帯 1,825人	B
	鳥取砂丘・いなば温泉郷の観光入込客数	289万人 (H26)	320万人	301万人	288万人	263万人	268.5万人	294.9万人	B

2 KPI（重要業績評価指数）の達成状況

【KPI全体の達成状況】

内部評価区分	達成率区分	件数	割合
①達成	100%以上	56-55	47% 48%
②順調	-	0	0%
③やや遅延	-	0	0%
④遅延	1%~99%	63-59	53% 52%
⑤評価対象外	-	0	0%
合計		119-114	100%

外部評価区分	件数	割合
A	62-61	52% 53%
B	36-33	30% 29%
C	21-20	18%
D	0	0%
合計	119-114	100%

【分野別のKPI達成状況等】

	内部評価		「①達成」の割合	④遅延の内訳			「①達成」又は達成率80%以上の割合	外部評価			
	①達成	④遅延		80%以上	50~79%	49%以下		A	B	C	D
ひとづくり	24	15	61.5%	9	5	1	84.6%	28	9	2	0
しごとづくり	16	17	48.5%	8	4	5	72.7%	16	7	10	0
まちづくり	16-15	31-27	34.0% 35.7%	18-14	8	5	72.3% 69.0%	18-17	20-17	9-8	0
合計	56-55	63-59		35-31	17	11		62-61	36-33	21-20	0

※「④遅延の内訳 49%以下」は、達成率を数値で表せないものを含む。

<未評価分 評価結果一覧>

1. 基本目標の進捗と評価

具体的な施策			現状	目標	(内部評価)				担当課	(外部評価) 総合企画委員	
中分類	管理番号	小分類			実績	達成率等	評価区分	担当課意見		総合評価	特記事項
まちづくり	5	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数	289万人 (平成26年)	320万人	294.9万人	達成率約 92.2%	④遅延	31年度は「鳥取西道路開通観光キャンペーン」を通して、魅力発信、知名度向上に努めた。しかし12月頃から感染拡大がみられている新型コロナウイルスの影響により、年度末にかけて入込数が減少している。そのため、令和2年度は収束に合わせ、プロモーション、キャンペーン等事業を集中して実施できるよう観光コンベンション協会や麒麟のまち観光局と連携し、準備を進める。	観光・ジオパーク推進課	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆いろいろなキャンペーンを使っでの活動は素晴らしいです。キャンペーンを利用した上で、どのジャンルのサービス業さんもまんべんなく潤うようにしてほしい。 ◆新型コロナウイルスの影響により、事業の推進が困難な状況での評価は困難だと思います。 ◆令和元年度は、日韓関係の悪化や、年度末にはコロナ感染拡大により観光客が減少した。コロナ禍の中での観光の推進は知恵を絞らなければならぬと思う。 ◆コロナウィルス感染症予防対策を十分に安全がアピールできることが必要です。

Ⅲ にぎわいにあふれ安心して暮らせる 'まちづくり' の施策の進捗と評価

(2) 交流人口の拡大

具体的な施策			現状	KPI (重要業績評価指標)	(内部評価)				担当課	(外部評価) 総合企画委員	
中分類	管理番号	小分類			実績	達成率等	評価区分	担当課意見		総合評価	特記事項
滞在型観光の推進	95	教育旅行、各ツーリズムに対応した情報発信、環境整備と新たな観光商品開発、販路開拓支援	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:289万人(H26実績)	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:320万人	令和元年鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:294.9万人	達成率約92.2%	④遅延	鳥取県、鳥取県観光連盟等と連携して、より宣伝効果の高いイベントへの出展を行っていく。 令和2年度は鳥取県、県東部1市4町や各市町観光協会が連携し、県東部エリアを対象とした観光キャンペーンを行い、さらなる周遊促進を図っていく。 また、麒麟のまち観光局との連携や、観光産業育成支援事業の取組みにより、新たな観光商品等の開発を促進していく。	観光・ジオパーク推進課	B	◆良い感じなので、このまま進めていただけたらいいと思います。そして、さら深掘していただき、次に進めてください。 ◆全国に知られる鳥取砂丘を最大限に活用して観光消費アップに努めるとともに、周遊を誘導する魅力的な観光コンテンツの発掘・磨き上げに一層の努力が必要である。 ◆農業を観光にできないか？ ・中山間地域での「やまが」民泊・農業体験等 ・農地のリース（最低基本管理料補助）
	96	官民で組織する鳥取版DMOの育成強化による観光振興	麒麟のまち圏域の観光入込客数:630万人(H27)	鳥取版DMO推進組織の設置⇒麒麟のまち圏域の観光入込客数:720万人	令和元年麒麟のまち圏域の観光入込客数:680.9万人	達成率約94.6%	④遅延	引き続き、麒麟のまち観光局と連携しながら、麒麟のまち圏域における広域観光の推進を図っていく。	観光・ジオパーク推進課	B	◆このまま進めることは大変いいです。具体的にもう少し役割分担について知りたいです。 ◆麒麟のまちも県内、近県に浸透してきていると思う。 ◆麒麟のまち圏域には、魅力のある観光資源があるので、麒麟のまち観光局と構成団体が連携を深め、取組を推進してほしい。 ◆多面にわたる波及効果を期待します。
シティセールスの推進	99	ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく、既存魅力資源の磨き上げ。「すごい！鳥取市」などの各種プロモーションの実施	●移住定住者数:200世帯351人(H26) ●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数289万人(H26)	●移住定住者数:1,100世帯2,000人以上 ●鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数320万人	●移住定住者数1,271世帯1,825人 ●令和元年鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:294.9万人	達成率 ●移住定住者数:達成率約91% ●令和元年鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数:92.2%	④遅延	ブランドスローガン「SQのあるまち」のもと、官民が一体となったシティセールスの推進に努めた。引き続き、本市ブランドとしての確立・浸透を図るとともに、補助金・インターネット放送番組制作等の取組の刷新を行い、本市の魅力発信に取り組み。	政策企画課 秘書課広報室	C	◆変化がなかったのはなぜでしょうか。 ◆官民が一体となるセールスの具体的な内容が知りたい。 ◆市民の認知度は低いので、具体的なものを説明しながら周知を図ってほしい。 ◆移住定住者は鳥取県としては多いと思うが、鳥取市としては少ないと思う。もう少し努力してもいいと思う。 ◆官民一体とは、仕事として事務的に一体となることか。各地区まちづくり協議会を組織し、魅力ある地域を創造するために活動している。支援チームはあるが、支援は仕事？地域住民として地区活動に積極的に共同していくことが真の一体ではないでしょうか。

(3) 住み良い環境づくり

具体的な施策			現状	KPI (重要業績評価指標)	(内部評価)				担当課	(外部評価) 総合企画委員	
中分類	管理番号	小分類			実績	達成率等	評価区分	担当課意見		総合評価	特記事項
利便性の高い公共交通の確保	118	バス路線の再編及び鉄道・タクシー・自転車など他の交通手段との連携の構築	路線バス利用者数 320万人 (H27実績)	路線バス利用者の減少抑制: 年5%以内 (直近5年平均: 5%)	路線バス利用者数: 3,097,935人	対前年比△5%以内の目標に対し△1%	①達成	バス路線の維持に向けては、運転手の確保と利用促進が課題であり、引き続き、市民・交通事業者と協働・連携により取り組んでいく。また、並行して、地域主体での運行を推進するための制度設計を行っていく。	交通政策課	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆バスだけでなくタクシーも利用方法を考えていけば、地域ごとの利用の格差を埋められるのでは。 ◆バス路線の廃止になった地域の住民の移動手段を確保してほしい。 ◆現状維持が困難な地域の公共交通のあり方に対し、リーダーシップを発揮していただきたい。 ◆路線バス事業は、企業努力しているのか? 運行しているバスに乗客の数はまばらで、満員のバスは見かけない。大型バスが必要なのか。小型化・運行時間・運行回数等の合理化が必要ではないか。 ◆免許返納者・後期高齢者交通手段の確保 高齢者は、自宅からバス停真まで、バス停から目的地までが負担となる。(玄関から目的地までを望む) ◆タクシー代補助の拡大を図れないか。
広域連携及び自治体間連携の推進	122	県東部圏域をはじめとする近隣自治体等との連携による広域観光及び移住定住の推進	麒麟のまち圏域の観光入込客数: 630万人 (H27)	麒麟のまち圏域の観光入込客数: 720万人 (H30~)	令和元年麒麟のまち圏域の観光入込客数: 680.9万人	達成率 約94.6%	④遅延	引き続き、麒麟まち圏域及びHOT連携、北前船寄港地間の連携を密にし、広域観光の推進を図っていく。	観光・ジオパーク推進課	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆ぜひ、このチャンスをいかしてアピールしてほしい。 ◆コロナ禍の中、圏域住民をターゲットにした取組を検討してはどうでしょうか。 ◆歴史的には価値ある遺産であっても、現在何らかの形で目に見えるものでなければ観光資源になりにくいと思う。 ◆コロナ禍の中でテレワークでの働き方が普及してきた。都市部から地方への移住希望が増えていると聞く。鳥取への移住定住に一層力を入れてほしい。 ◆海外観光者を含む入込客数か?